

平成 2 4 年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
秋川ファーマーズセンター	平成 2 3 年 4 月 1 日～ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日 (3 年間)	環境経済部 農林課 農政係	平成 24 年度は急激な気候変動により、野菜の収穫に大きな打撃を受け、品数の調整に大変苦慮した 1 年間であった。このような条件のもと、集客力の向上と売上げの増加を図るため、新鮮・安心・安全な農畜産物の提供を行うとともに、地場産野菜の漬物のような付加価値の高い商品の提供に努めた。また、生産者(会員)の増員の確保に努めた。その結果、安定した商品の提供を図ることができた。	<p>＜市民サービスの向上＞</p> <p>常に利用者の立場に立った接客で、利用者の意見・苦情に対する迅速対応は、利用者から高い評価を受けている。今後も引き続き利用者、生産者の連携の向上を期待する。</p> <p>＜経費削減の取組＞</p> <p>ダンボールの再利用、節電、買い物袋持参の呼びかけによるレジ袋の削減など、今後も環境へ配慮した取組を続けるよう期待する。</p> <p>＜指定管理者の管理に係総括的な評価＞</p> <p>農畜産物の品質の向上や利用者対応については、適切に対応している。今後も、安心安全な農畜産物の安定供給に取り組むとともに、地産地消を推進する拠点として、天候に左右されにくい施設栽培や、農産物加工の販売などを導入し、あきる野農業の発展に取り組むため、農業者とより連携を強化する。</p>	A
「観光施設」 ・秋川橋河川公園	平成 2 3 年 4 月 1 日～ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日 (3 年間)	環境経済部 観光商工課 観光商工係	例年に比べて天候に恵まれたことから来園者数及び収益が増加した。一方、夏休み期間中等の繁忙期は、施設運営に要する従業員の確保及び適切な人員配置の達成が困難な場合があるため、今後も新シフトの導入及び勤務体制の見直しを行う。	<p>＜市民サービスの向上＞</p> <p>利用者に対する事故防止の喚起、入場時間の繰上げ、徹底清掃及び管理区域外の日常清掃、近隣住民による花壇設置等、利用者及び近隣住民にも配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>＜経費削減の取組＞</p> <p>利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。</p> <p>＜指定管理者の管理に係総括的な評価＞</p> <p>利用者数や収支状況を見てみると、利用者数については前年度比約 5,000 人の増加、収入についても増加している。収支は 23,631 千円の利益があり、利益増加の主な原因は、例年に比べて台風や悪天候の影響が少なく、夏場を中心に秋川渓谷周辺がメディアに多く取り上げられたこと等により、利用者が増加したことが考えられる。</p> <p>河川公園は、武蔵五日市駅から徒歩 5 分という立地条件に加え、施設の規模や内容も充実していることから、特に夏休み期間中はバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多く盛況である。人員配置・人材育成等については、1 年間を通して考えれば適正な人員で効率よく運営していると評価できる。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営に必要な人員が大きく変動するため、より効率的かつ柔軟な人員計画を作成する必要がある。</p> <p>今後も引き続き積極的なサービスを展開し、更なる利用者の増加を図り、あきる野市内により多くの観光客を呼び込む取組を推進する必要がある。</p>	A

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成24年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「観光施設」 ・第1水辺公園リバー サイドパークの谷	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 （3年間）	環境経済部 観光商工課 観光商工係	平成24年度、台風等による被害も無く、順調に管理運営を図ることができた。今後についても天災等に備えつつ、利用者に満足していただけるようスタッフ一同、サービスの向上に努める。	<市民サービスの向上> 利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。 <経費削減の取組> 利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。 <指定管理者の管理に係総括的な評価> 平成24年度においては、台風や悪天候の影響が少なく、年間の収入は前年比約1,154千円、利用者数は約600人増加した。今後もバーベキュー場利用者に対して、より一層のサービス向上やスタッフの経費削減等の意識の向上及び連携強化を図り、より良いバーベキュー場運営ができるよう努める。 また、バーベキュー場のホームページの充実や情報誌、新聞等を幅広く活用し、リピーター及び新規利用者の増大を図るように努める。人員配置・人材育成等については、1年間を通して考えれば適正な人員で効率よく運営していると評価できる。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営に必要な人員が大きく変動するため、より効率的かつ柔軟な人員計画を作成する必要がある。	A
あきる野市観光協会					
「観光施設」 ・第4水辺公園秋川ふ れあいランド	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 （3年間）	環境経済部 観光商工課 観光商工係	平成24年度、台風等による被害も無く、順調に管理運営を図ることができた。今後についても天災等に備えつつ、利用者に満足していただけるようスタッフ一同、サービスの向上に努める。	<市民サービスの向上> 利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。 <経費削減の取組> 利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。 <指定管理者の管理に係総括的な評価> 平成24年度においては、台風や悪天候の影響が少なく、年間の収入も前年比約1,154千円、利用者数も約2,000人増加した。今後もバーベキュー場利用者に対して、より一層のサービス向上やスタッフの経費削減等の意識の向上及び連携強化を図り、より良いバーベキュー場運営ができるよう努める。 人員配置・人材育成等については、1年間を通して考えれば適正な人員で効率よく運営していると評価できる。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営に必要な人員が大きく変動するため、より効率的かつ柔軟な人員計画を作成する必要がある。 また、バーベキュー場のホームページの充実や情報誌、新聞等を幅広く活用し、リピーター及び新規利用者の増大を図るように努めてほしい。	A
あきる野市観光協会					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成24年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「十里木・長岳観光施設」 秋川溪谷瀬音の湯	平成24年4月1日～ 平成27年3月31日 （3年間）	環境経済部 観光商工課 観光商工係	集客努力、運営改善努力により、概ね、利用者数・収支状況は良好に推移している。また、顧客満足度についても上向きになっていることから、今後もより一層の精進をおしまない決意である。	<p>＜市民サービスの向上＞</p> コテージ内に空気清浄器を設置したり、設備の改善としてドアホーンを設置するなど市民サービスの向上に努めている。 <p>＜経費削減の取組＞</p> 前年度より利用者が増加したにもかかわらず、維持管理経費は年間計画を下回っており、経費削減に努めているが、その他の支出は年間計画を上回っているため、一層、支出の精査に努める必要がある。 <p>＜指定管理者の管理に係総括的な評価＞</p> 施設全体の利用者数については、前年度比15,037人の増加となり、入浴者数については、前年度比12,648人の増加となった（うち8,747人は開業5周年記念無料招待者）。 収支状況については、収入が前年度比5,402千円の増加となり、支出が前年度比5,433千円の増加となっている。また、市へは納付金として3,747千円が納められた。 サービス等の向上については、市内イベントにおける足湯の設置、縁側ギャラリーの活用、インターネットを活用した集客、直売所の充実等に努めており、市内外へのPRに努めている点は評価できる。 開業7年目を迎える平成25年度においても、より一層のサービス向上と更なる利用者数の拡大を目標に、経費の抑制に努め、健全な運営を行っていくよう監理していく。また、昨年度に引き続きイベントの実施等による積極的な地域活性化への取組を期待する。 人員配置・人材育成等については、1年間を通して考えれば適正な人員で効率よく施設を運営している。	A
新四季創造株式会社					
「総合福祉センター」 秋川ふれあいセンター	平成21年4月1日～ 平成26年3月31日 （5年間）	健康福祉部 生活福祉課 庶務計画係	秋川ふれあいセンターは、平成6年4月から業務を開始し既に19年が経過しており、施設や設備等が経年劣化による故障や雨漏り等が発生することがありますが、不具合のある箇所については、可能な限り修理や改善等を行うなど、利用しやすい施設とするため積極的に取り組んでいます。今後も施設の管理や改善などをさらにを行い、快適で安全な施設利用ができるよう取り組むと共に、施設利用について広く周知に努め、利用の増進を図ります。	<p>＜市民サービスの向上＞</p> 施設の経年劣化に伴い、空調や電気関係に故障が発生しており、その都度対応に苦慮されていますが、利用者への迅速かつ丁寧な対応など、引き続き利用者の立場に立ったサービスに努めていただきたいと思います。 <p>＜経費削減の取組＞</p> デマンド監視装置の設置、ゴーヤによるグリーンカーテンの実施など、引き続き経費節減に取り組んでいただきたい。 <p>＜指定管理者の管理に係総括的な評価＞</p> 光熱水費の経費節減や効率的な運営など、引き続き更なる利用率の向上に努めていただきたい。	A
社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成24年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「心身障害者通所授産施設」 ・五日市希望の家	平成20年4月1日～ 平成25年3月31日 (5年間)	健康福祉部 障がい者支援課 障がい者支援係	<p>地域の方々や多くのボランティアの協力を得て、地域の施設として様々な活動を実践することにより、通所者がより多くの経験を得ることができるよう努めるとともに、個々の通所者に対応した個別支援計画を実践することにより、個々の状況に合ったサービスの提供を行った。</p> <p>次年度についても、通所者に合った個別対応を行うとともに、保護者との連絡を密にすることで、より高い信頼・評価を得ることができるよう質の向上を図っていく。</p>	<p><市民サービスの向上> 地域及びボランティアの協力の下で、通所者に対し個別対応などの献身的な指導を行っており、また、保護者とは連絡帳などで意見・要望等の把握に努めており、利用者及び保護者との信頼関係の中で、事業運営に努めていることが伺え、高く評価できる。</p> <p><経費削減の取組> 人件費や光熱水費などの維持管理費の縮減に取り組んでおり、高く評価できる。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 人件費や維持管理費の節減に向けた取組、サービス面で一人ひとりに目を向けた個別支援、毎月に保護者会の開催など、丁寧な取組は高く評価できるものである。今後、法内移行した生活介護事業を実施するうえで、より一層の質の向上を目指すとともに、減少傾向の利用者の増加に向けた取組など、課題の克服に向けた取組を進めることを願います。</p>	A
社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会					
「心身障害者（児）通所訓練施設」 ・ひばり分室	平成20年4月1日～ 平成25年3月31日 (5年間)	健康福祉部 障がい者支援課 障がい者支援係	<p>個別支援計画の作成等により、通所者一人ひとりに対応した生活の質の改善及び能力の向上を目指したサービスを実施したことで、結果として、通所者に対して丁寧で責任ある対応ができ、高い評価を得ることができたと考えている。次年度についても、通所者に合った個別対応を行うとともに、保護者との連絡を密にすることで、より高い信頼・評価を得ることができるよう質の向上を図っていく。</p>	<p><市民サービスの向上> 通所者に対し個別対応など、献身的な指導を行っており、また、保護者とは連絡帳などで意見・要望等の把握に努めており、利用者及び保護者との信頼関係の中で、事業運営に努めていることが伺え、高く評価できる。</p> <p><経費削減の取組> 光熱水費等の維持管理費の節減に努めたことは高く評価できる。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 維持管理費の節減に向けた取組やサービス面で一人ひとりに目を向けた個別支援、毎月に保護者会の開催など、丁寧な取組は高く評価できるものである。今後、法内移行した生活介護事業を実施するうえで、より一層の質の向上を目指すとともに、減少傾向の利用者の増加に向けた取組など、課題の克服に向けた取組を進めることを願います。</p>	A
社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成24年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「高齢者在宅サービスセンター」 ・萩野センター ・開戸センター ・五日市センター 社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会	平成20年4月1日～ 平成25年3月31日 （5年間）	健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係	5年間の指定管理者期間が満了しました。高齢者に高齢者在宅サービスセンターを利用していただくことにより日常生活の充実や生きがいがいづくりに寄与し、介護予防、介護保険の負担軽減に果たした役割は大きいと考える。	<市民サービスの向上> 日々、利用者への声かけなどにより満足度を把握し、市民サービスの向上に努めた。また、利用者からの意見等に対しても適切に対応した。 <経費削減の取組> ボランティア講師の活用や教材や作品の材料にリサイクル品を使用するなど、経費の削減が図られた。施設管理においては、電力使用量の削減を図るため、不要な照明をこまめに切るなど努力した。 <指定管理者の管理に係総括的な評価> 5年間の指定管理期間が満了したが、指定管理者の内部努力により施設運営の効率化を図ることができた。今後は、この5年間の経験を踏まえ、さらなる施設運営の効率化と高齢者の日常生活の充実を図るために新たな指定管理者と連携を図りながら、高齢者在宅サービスセンターを運営していく必要がある。	A
「産業文化複合施設」 あきる野ルピア 株式会社 秋川総合開発公社	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 （3年間）	教育部 生涯学習スポーツ課 生涯学習係	全体的に平日昼間の利用が少ないため、ルピア塾講座（子どもからお年寄りまで楽しく気楽に参加してテーマに沿った内容で実施）を実施して、利用者の増加及び収支の向上に努めている。	<市民サービスの向上> 窓口やロビー等での施設利用者とのコミュニケーションを図るとともに、講演会の参加者や主催事業の講師などに対してアンケート調査を実施し、来場者や施設利用者のニーズに対応することで、満足度の向上を図っている。また、独自のホームページを充実させるなど、リアルタイムの情報発信を行い、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っている。 <経費削減の取組> 節電による経費の節減が図られているが、人件費の抑制が課題である。 <指定管理者の管理に係総括的な評価> 市民に多様な学習機会が提供され、多くの利用者を獲得し、施設利用料の確保にも繋げられている。しかし、人件費の抑制が課題となっている。	B

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成24年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「体育施設」 五日市ファインプラザ	平成21年4月1日～ 平成26年3月31日 （5年間）	教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係	<p>今年度の総利用者数は159,285名となり前年度比105%となりました。これだけ多くのお客様に来て頂いた要因として、常に利用者の立場にたった営業を行っている事があげられます。事故もなく安全な施設運営を行い、常にお客様が快適に利用できる環境を作ってきたことがこの結果につながったと考えております。</p> <p>収支状況も無駄な支出をなくし、多様なサービス提供を行った結果、過去最大の利益を上げることができました。今後も光熱水費などに注意し、無駄な支出をおさえ、市民の方に利益を還元できる運営を行いたいと考えております。</p> <p>五日市ファインプラザでは今まで障がい児水泳教室などを実施し、障がいを持った方の支援を行ってきました。今年度は市内在住の障がい者の方を雇用することができました。今まで利用者としてしか接してなかった障がい者の方が、運営する側として在籍することは、非常に大きな意味があると考えております。障がいを持った方でも安全で安心して働くことのできる職場環境づくりを、今後も展開していきたいと考えております。</p> <p>以上のことを考慮し、今後は利用者数、収支面、サービス面でも向上できるよう努力していきたいと考えております。</p> <p>来年度は指定管理期間最終年でもあるため、さらに気を引き締め、もっと多くのお客様に満足して頂ける施設運営を実施していきたいと考えております。</p>	<p>＜市民サービスの向上＞</p> <p>新規事業と定着した事業を多く行い、市民のニーズが取り入れられて、市直営時の144,676人より110%も総利用者数が増加している。今後も自主事業や新規事業を多く取り上げ市民サービスに心掛けてください。</p> <p>＜経費削減の取組＞</p> <p>利用者が増えている中、また、平成23年3月の原発事故以降、高熱水費が高騰する中、節減を徹底し、無駄な支出を抑えた功績は評価できる。今後もこの努力を続けてください。</p> <p>＜指定管理者の管理に係総括的な評価＞</p> <p>市民サービスが充実し、利用者が増加しているにもかかわらず、高熱水費を削減している功績を今後も続けてください。</p>	A
シンコースポーツ・山武・東京体育機器共同事業体					
「体育施設」 市民プール	平成24年4月1日～ 平成27年3月31日 （3年間）	教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係	<p>個人利用者数は前年度に比べて78,614名と増えました。要因として開館日数の拡大と夏期の営業時間拡大のサービス向上が挙げられます。自主事業は、利用機会の拡大と子供から高齢者、障がい者の方が参加できる自主事業教室の展開、水泳用品を中心とした物販販売、災害ベンダーなどの自動販売機の導入を行いサービス向上に努めておりました。</p> <p>支出面は利用者の方のご協力により節水節電を実施しておりましたが、猛暑により電気使用量が多くなってしまいました。夏期・冬期の冷暖房の抑制が課題となります。</p> <p>スタッフのスキル向上のために研修を行い、安全・安心な施設運営を行いました。</p>	<p>＜市民サービスの向上＞</p> <p>休館日の削減、営業時間の拡大により、個人利用者も増え、市民のニーズが取り入れられていると感じます。屋外開場にあわせた飲食の販売の促進など、今後ともより良い市民サービスを心掛けてください。</p> <p>＜経費削減の取組＞</p> <p>電気使用量が多いため、ヒートポンプの駆動時間や施設内の適正な温度管理を心掛けてください。</p> <p>＜指定管理者の管理に係総括的な評価＞</p> <p>プール施設ということもあり、直接お客様の命を預かる職場なので、特に安全面の研修など今後も多く取り入れてください。また、障がい者の雇用について計画通りの雇用となるよう努めてください。</p>	B
シンコースポーツ・山武共同事業体					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。